

1. 基本情報

基本目標	3	誰もが安心・安全、快適に暮らせるまちづくり	担当部	町民生活部
基本施策	1	総合的な環境対策の推進		
単位施策名称	1	低炭素型のまちづくりの推進		
	施策の方向性	●まち全体として温室効果ガスを削減させる低炭素型の社会システムづくりを推進します。 ●二酸化炭素吸収源の一翼を担う森林の適正な管理を行い、自然環境の保全を図ります。		

2. 施策目標（施策指標）

No.	目標指標	単位	区分	計画策定時の状況	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	中期目標(R2)
1	府中町の温室効果ガス排出量の削減	千t-co2	目標値		1,336.8	1,323.6	1,310.3	1,297.1	1,283.8
			実績値	1,350.1	1,779.0	2,352.0	2,125.2		
			達成状況		未達成	未達成	未達成		
2			目標値						
			実績値						
			達成状況						
3			目標値						
			実績値						
			達成状況						
4			目標値						
			実績値						
			達成状況						

3. 評価と対応方針（部長評価）

・分析

（施策目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）

全体の75%を占める製造業の出荷量に左右されるため、未達成となりました。

・評価及び対応方針

全体の大きな割合を占める産業部門の影響が高くなっています。景気に左右される側面が大きいですが、広報活動により引き続き企業や住民の関心を高めていきます。

作成担当部長 町民生活部長 金光 一隆

4. 今後の展望（評価会議最終評価）

目標値未達成であるうえ、目標値到達率は60%を下回っています。現在の施策の方向性は継続するものの、分析内容を念頭に、対応方針に沿った見直しを実施することとします。

【参考】施策の推進に要したコスト

(単位:千円)

区分		No.	事業名称	事業費
施策の成果を 押し上げる 事業	事務 事業計画	1	低炭素型社会づくり推進事業	0
		2	府中の森づくり事業	2,600
		3		
		4		
		5		
		6		
		7		
		8		
		9		
		10		
		11		
		12		
		13		
		14		
		15		
		16		
		17		
		18		
		19		
		20		
施策の成果を 維持する事業	財政 計画	1		
		2		
		3		
		4		
		5		
		6		
		7		
		8		
		9		
		10		
		11		
		12		
		13		
		14		
		15		
		16		
		17		
		18		
		19		
		20		
合計				2,600

平成30年度 事務事業評価シート（評価）

1. 基本情報

事務事業の名称	低炭素型社会づくり推進事業	事業番号	311101
担当部署名	町民生活部	環境課	
政策体系			
基本目標	3 誰もが安心・安全、快適に暮らせるまちづくり		
基本施策	1 総合的な環境対策の推進		
単位施策	1 低炭素型のまちづくりの推進		

2. 事業概要

府中町第3次地球温暖化実行計画【事務事業編】推進のため、公共施設における二酸化炭素排出量を低減します。

3. 活動計画・活動実績

活動計画	活動実績
○ 身近に取り組める環境保全の情報を発信する「エコチャレンジ」を実施し、二酸化炭素排出量の抑制を推し進めます。 ○ 省エネ行動及び省資源行動に関する啓発活動を行います。	○ 身近に取り組める環境保全の情報を発信する「エコチャレンジ」を実施し、二酸化炭素排出量の抑制を推し進めました。 ○ 省エネ行動及び省資源行動に関する啓発活動について、毎月広報ふちゅうに掲載しました。

4. 事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
①	公共施設における二酸化炭素排出量	k g	目標値	3, 255, 018	3, 161, 263	3, 067, 508	2, 973, 753	2, 880, 000
			実績値	2, 566, 325	2, 496, 701	3, 196, 052		
			達成状況	達成	達成	未達成		
②			目標値					
			実績値					
			達成状況					
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法		町が率先して地球温暖化対策を推進するため、公共施設における二酸化炭素排出量を指標としました。						

5. コスト情報

（単位：千円）

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
当初予算	0	0	0	0	0	0
決算	0	0	0	0	0	0

6. 評価と対応方針（課長評価）

・ 分析

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）

電力供給事業者がより二酸化炭素排出係数の高い事業者になったこともあり、目標は未達成となりました。今後は新設した機器の効率的な使用方法、あるいは機器の更新に資する情報の提供を行う必要があります。

・ 評価

事業効果	高	事業改善	低	今後の方向性	事業継続
------	---	------	---	--------	------

・ 評価を踏まえた対応方針

各施設のハード面の更新に活用できる制度について積極的に情報提供します。

作成担当課長

環境課長 穴田 貴

7. 評価と対応方針（部長評価）

・ 分析

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）

電力供給事業者がより二酸化炭素排出係数の高い事業者になったこともあり、目標は未達成となりました。今後は、各施設のハード面の更新が要求されます。

・ 評価

事業効果	高	事業改善	低	今後の方向性	事業継続
------	---	------	---	--------	------

・ 評価を踏まえた対応方針

各施設のハード面の更新に活用できる制度について積極的に情報提供を行い、事業を推進します。

作成担当部長

町民生活部長 金光 一隆

8. 今後の展望（評価会議最終評価）

今後の方向性	事業継続
方向性を踏まえた今後の展望	目標値未達成ですが、目標値到達率は80％を超えていることから、概ね達成と見なします。引き続き目標値の達成を目指し、事業を継続することとします。

平成30年度 事務事業評価シート（評価）

1. 基本情報

事務事業の名称	府中の森づくり事業	事業番号	311102
担当部署名	町民生活部	環境課	
政策体系			
基本目標	3 誰もが安心・安全、快適に暮らせるまちづくり		
基本施策	1 総合的な環境対策の推進		
単位施策	1 低炭素型のまちづくりの推進		

2. 事業概要

広島県の森づくり県民税による事業交付金を財源に、森林の間伐を実施し、水源の涵養・土砂災害の防止を図るとともに、森林ボランティア団体の活動に対する助成を行います。

3. 活動計画・活動実績

活動計画	活動実績
○ 水源涵養・土砂災害の防止など森林の公益的機能を高めるため、里山林の間伐等を行います。また、水分峡森林公園及び周辺の森林の持つ公益的機能の維持活動を行う、森林ボランティア団体に補助金を交付します。	○ 災害の影響で間伐は実施できませんでした。 ○ 森林活動の実施や体験学習などを行う森林ボランティア団体に対し、補助金を交付しました。

4. 事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
①	間伐実施面積（累計）	h a	目標値	10. 2	12. 2	14. 2	16. 2	18. 2
			実績値	16. 1	17. 8	17. 8		
			達成状況	達成	達成	達成		
②			目標値					
			実績値					
			達成状況					
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法		森林の適切な管理・保全を行うことが目的のため、間伐実施面積を指標としました。						

5. コスト情報

（単位：千円）

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
当初予算	2,701	0	2,600	0	1	100
決算	2,600	0	2,600	0	0	0

6. 評価と対応方針（課長評価）

・ 分析

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）

災害の影響で間伐は実施できませんでした。水分峡森林公園の利用に関する問い合わせも多く、再開への町民の期待が高まっています。

・ 評価

事業効果	高	事業改善	低	今後の方向性	事業継続
------	---	------	---	--------	------

・ 評価を踏まえた対応方針

水分峡森林公園の再開に向け必要な整備を行うとともに、再開を機に森林の維持保全に関する意識を高めるための施策を実施します。あわせて水分峡森林公園再整備基本計画の具現化に向けて取り組みます。

作成担当課長

環境課長 穴田 貴

7. 評価と対応方針（部長評価）

・ 分析

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）

目標値は達成していますが、7月豪雨災害の影響で間伐ができていません。防災等のため、森林の維持保全が必要です。

・ 評価

事業効果	高	事業改善	低	今後の方向性	事業継続
------	---	------	---	--------	------

・ 評価を踏まえた対応方針

早期の災害復旧を行い、令和2年度に間伐を再開し、森林の維持保全を推進します。

作成担当部長

町民生活部長 金光 一隆

8. 今後の展望（評価会議最終評価）

今後の方向性	事業継続
方向性を踏まえた今後の展望	目標値を達成しています。引き続き目標値の達成を目指し、事業を継続することとします。